

「土砂災害に関するアンケート」実施結果

e-モニターの皆さんにご参加いただき「土砂災害に関するアンケート」を実施しました。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さんにお礼を申し上げますとともに、アンケートの実施結果を下記のとおり報告します。

なお、アンケートの内容及び回答集計については、e-モニターのホームページ(下記リンク先)をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=100>

アンケート概要

○アンケート実施期間

平成 23 年 8 月 9 日から平成 23 年 8 月 29 日まで

○意見募集の結果

対象者数 1,595 名

回答者数 1,116 名

回答率 70.0%

○回答者属性

性別 男性 606 名 女性 510 名

年代別

20代	30代	40代	50代	60代	70代
104名	232名	302名	256名	165名	57名
9.3%	20.8%	27.1%	22.9%	14.8%	5.1%

地域別

桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	津地域	松阪地域
147名	260名	160名	172名	133名
13.2%	23.3%	14.3%	15.4%	11.9%

南勢志摩地域	伊賀地域	尾鷲地域	熊野地域
122名	88名	15名	19名
10.9%	7.9%	1.3%	1.7%

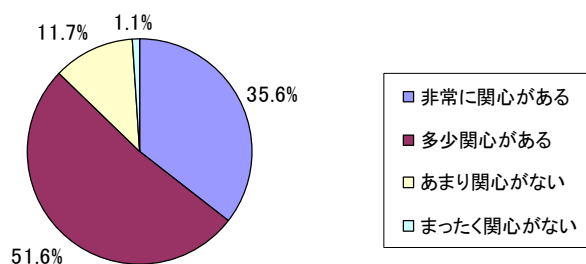
アンケート結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかとの見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

アンケート結果

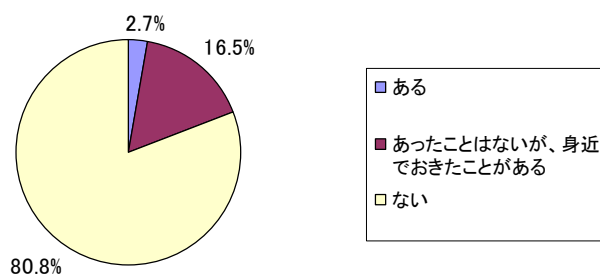
Q1 「土石流」、「崖崩れ」、「地すべり」などの土砂災害に関心がありますか。

「多少関心がある」51.6%が最も多く、続いて「非常に関心がある」35.6%となっています。
「多少関心がある」「非常に関心がある」を合わせると、約 87%の方が関心があると回答しています。



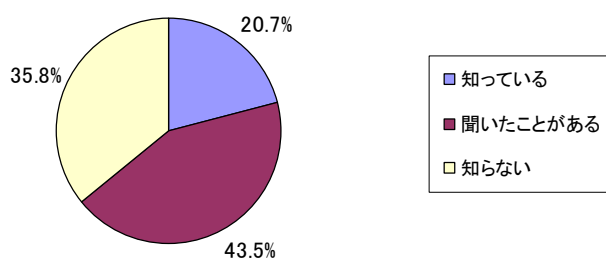
Q2 過去に土砂災害にあったことがありますか。

80.8%の方が「あったことはない」と回答しています。



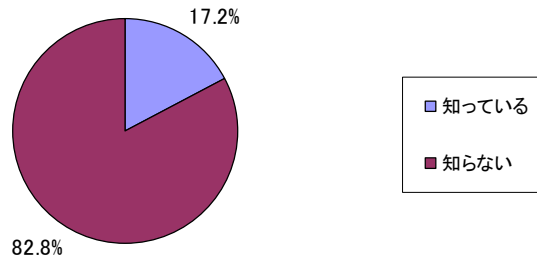
Q3 土砂災害の恐れのある箇所を、「土砂災害危険渓流」「急傾斜地崩壊危険箇所」「地すべり危険箇所」といいますが、この言葉を知っていますか。

「聞いたことがある」43.5%が最も多くなっています。



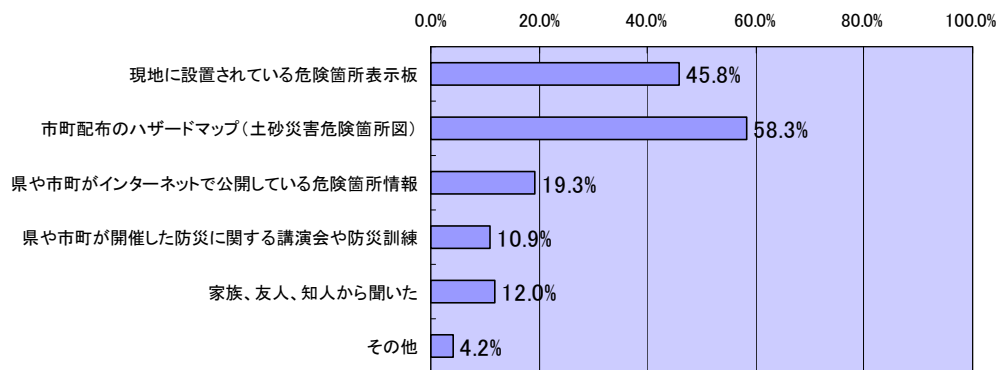
Q4 県では「土石流危険渓流」「急傾斜地崩壊危険箇所」「地すべり危険箇所」を調査公表していますが、この情報が公表されていることを知っていますか。

82.8%の方が「知らない」と回答しています。



Q5 Q4で「知っている」と答えた方にお聞きします。
土砂災害危険箇所の情報をどうやって知りましたか。(複数回答可)

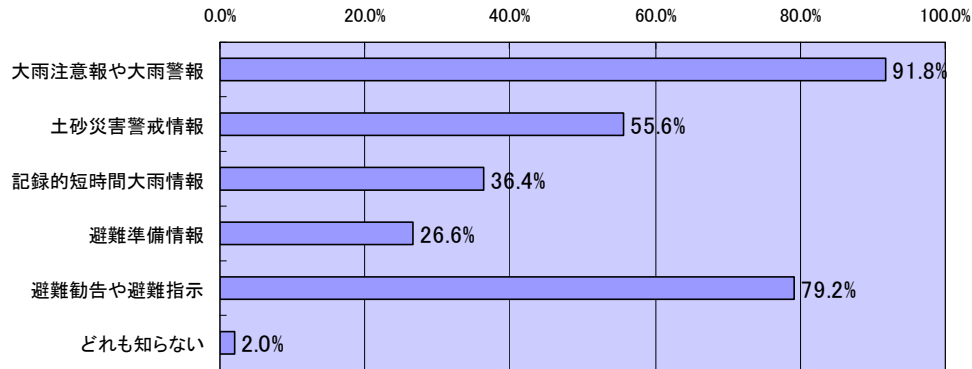
「市町配布のハザードマップ(土砂災害危険箇所図)」58.3%が最も多く、次いで「現地に設置されている危険箇所表示板」45.8%となっています。



「その他」の主な意見は、「テレビのニュース」でした。

Q6 土砂災害が発生する可能性が高まった時に発表される防災情報のうち、ご存知の情報はありますか。(複数回答可)

「大雨注意報や大雨警報」91.8%が最も多く、次いで「避難勧告や避難指示」79.2%となっています。三重県では、平成19年9月より津地方気象台と共同で「土砂災害警戒情報」を発表していますが、その認知度は55.6%に留まっています。

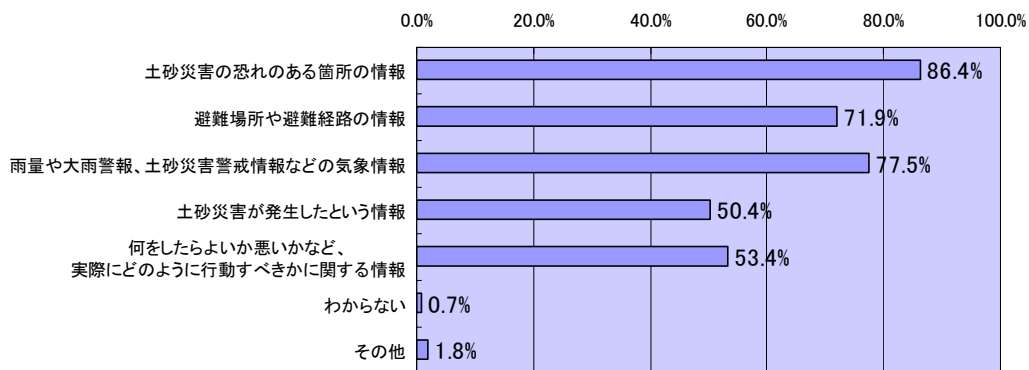


『土砂災害警戒情報』

大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、市町長が避難勧告等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する情報です。三重県では平成19年9月以降、平成23年9月末までの約4年間に延べ81市町(地区)に発表しています。

Q7 土砂災害から身を守るためにどんな情報が必要だと思いますか。(複数回答可)

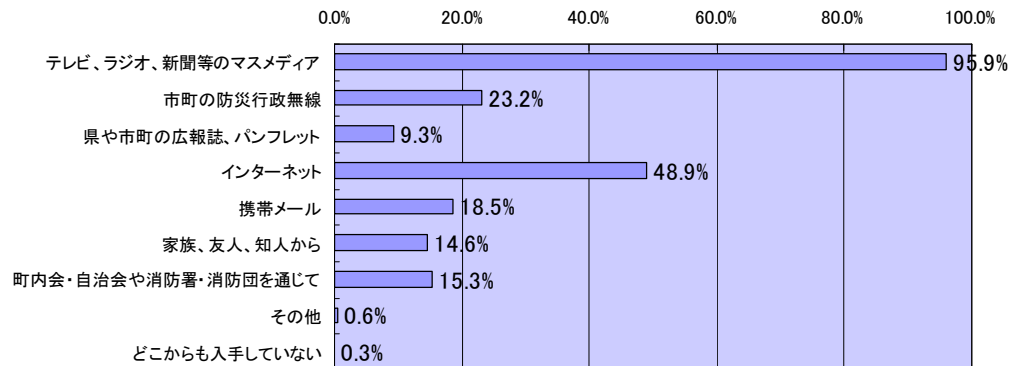
「土砂災害の恐れのある箇所の情報」86.4%が最も多く、次いで「雨量や大雨警報、土砂災害警戒情報などの気象情報」77.5%となっています。



「その他」の主な意見は、「どこから情報を得たらいいのかなど情報収集手段に関する情報」、「土砂災害の前兆現象の情報」などでした。

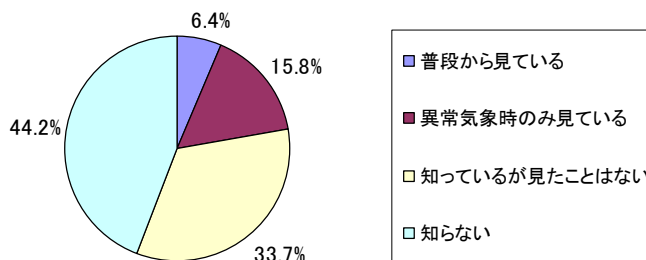
Q8 気象や土砂災害についての情報をどこから入手していますか。(複数回答可)

「テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディア」95.9%が最も多く、次いで「インターネット」48.9%となっています。



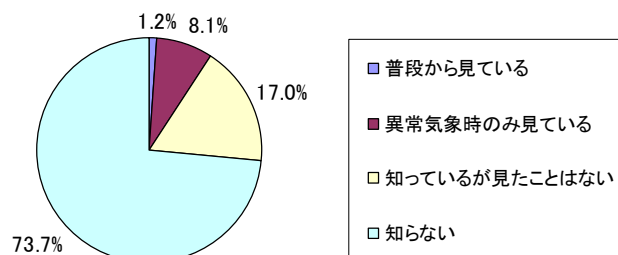
Q9 県の防災ホームページ「防災みえ.jp」をご存知ですか。

「知らない」44.2%が最も多く、次いで「知っているが見たことはない」33.7%となっています。
「知っているが見たことはない」と回答された方も含めて、その認知度は 55.9%となっています。



Q10 県の雨量情報や土砂災害危険度情報のホームページ「三重県土砂災害情報提供システム」をご存知ですか。

「知らない」73.7%が最も多く、次いで「知っているが見たことはない」17.0%となっています。
「知っているが見たことはない」と回答された方も含めて、その認知度は 26.3%となっています。



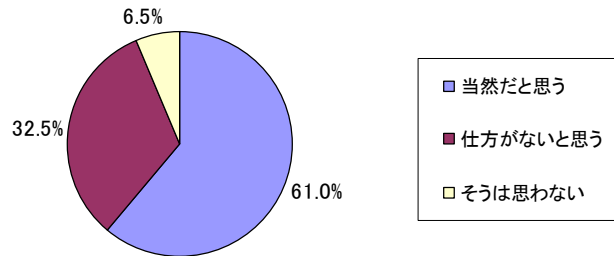
『三重県土砂災害情報提供システム』

県内の土砂災害危険箇所や土砂災害危険度情報、雨量情報がホームページで確認できます。

http://www1.sabo.pref.mie.jp/mie_gis/start.php

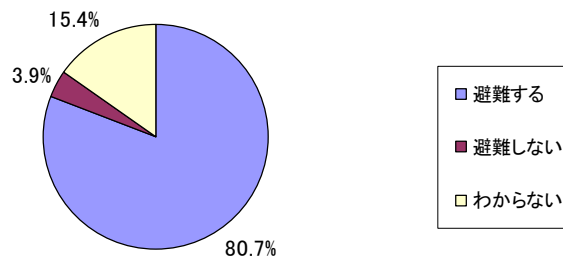
Q11 土砂災害の防止にあたって、まず「自分の身は自分で守る」との意見がありますが、この考え方についてどう思いますか。

「当然だと思う」61.0%が最も多くなっています。



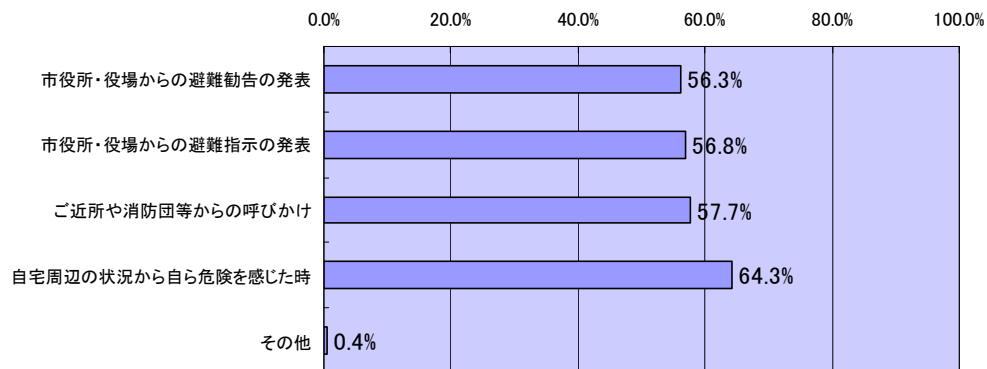
Q12 自宅周辺で土砂災害の危険性がある場合、避難をしますか。

80.7%の方が「避難する」と回答しています。



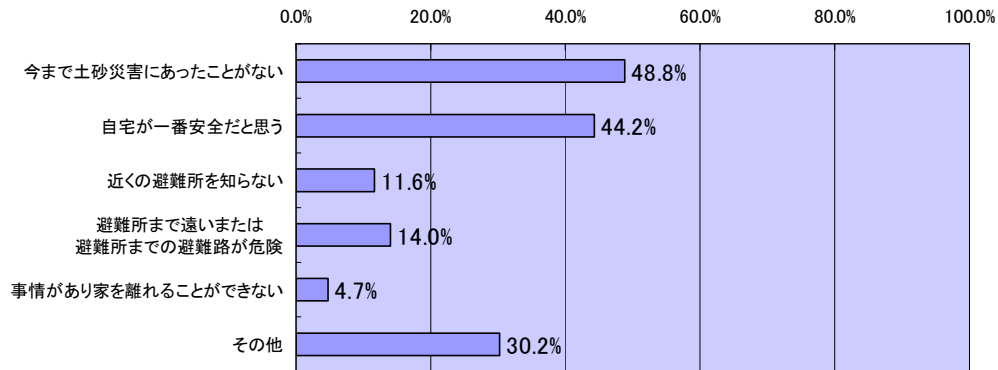
Q13 Q12で「避難する」と答えた方にお聞きします。
避難するきっかけは何だと思いますか。(複数回答可)

「自宅周辺の状況から自ら危険を感じた時」64.3%が、市役所・役場、ご近所・消防団等からの呼びかけより多くなっています。



Q14 Q12で「避難しない」と答えた方にお聞きします。
 避難しない理由は何ですか。(複数回答可)

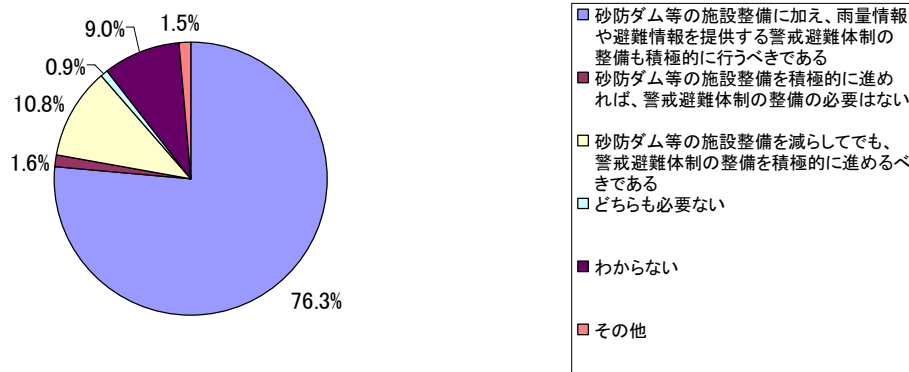
「今まで土砂災害にあったことがない」48.8%が最も多くなっています。



「その他」の主な意見は、「地形的に自宅近辺では起こらない」でした。

Q15 今後も土砂災害対策事業(砂防事業)は必要だと思いますか。

76.3%の方が、「砂防ダム等の施設整備に加え、雨量情報や避難情報を提供する警戒避難体制の整備も積極的に行うべきである」と回答しています。



「その他」の主な意見

- ・お金の掛からない方法で、ダム整備や、体制の整備も行うべき
- ・ハード面の効果的な事業とソフト面の避難体制・訓練のバランスの取れた実施
- ・砂防ダムはたしかに必要な箇所も多くあると思うがむやみやたらに作ることは避けて欲しい。自然破壊につながるし、かえって土石流の危険性が増すこともありうるのではないかと思う。地域住民の意見も取り入れながら適正な整備がなされることを望む。警戒避難体制の整備はもろろんどん進めるべき。
- ・必要な場所を十分吟味した上で最小限の施設整備を行っていただきたい。